



第56回関東甲信越静地区造形教育研究大会神奈川大会 大会要項（二次案内）

2016 神奈川大会テーマ
「感じる つくる 生くる」
～今をみつめ 明日を育む造形活動～



「感じる つくる 生くる」、これからの中を豊かな心でたくましく生き抜く子どもたちを育むために、今改めて造形教育の大切さとは何かを私たち自らに問うことを考え、本テーマを設定しました。

大きな変化に適応しながら、知識基盤社会という時代を生きる子どもたちは、「もの・こと・人」に関わりながら、自らの手で自らの生き方を切り拓くとともに、多様な価値観を受容し、共生していくことが求められます。そのために、子どもたちが十分な知識や技能を身に付けながら、思考力や判断力、表現力を高め、主体的に自分を取り巻く社会や環境に適応し、国際的な視野で人々と協働することができるような教育の在り方を考えいかなければなりません。

私たちは、子どもの資質・能力を培い、可能性を引き出すとともに、自己有用感あふれる豊かな心を育む教育を実現するための造形教育が担う役割とは何か、というところを明確にしていく必要があります。

造形活動において、子どもたちは、材料をはじめ様々な対象に関わり、感性を働かせながら、自分なりの意味や価値をつくりだすことで、豊かな情操を養っていきます。そこに、子どもの命輝く姿の実現があるのではないでしょうか。「つくること」は、すなわち「生きること」そのものである、と考えます。

その中でも、造形教育で連続して行われる「感じる」「つくる」営みを私たちがどうデザインするか、ということが大切になります。子どもたち一人ひとりが、形や色に関心を寄せながら、心ときめき、自分を見つめ、自分で決め、自分らしく新たにつくりだす造形活動そのものが、豊かに生きる自分を切り拓いていくことにつながります。出会う「もの・こと・人」すべてが自分を豊かにしてくれる。そのような出会い、経験を数多く子どもたちに、と切に願います。

サブテーマは「～今をみつめ 明日を育む造形活動～」としました。幼稚園・保育園における十分な遊びを通して培った育ちや学びが、小学校の豊かな学びにつながるというように、子どもの成長過程をとらえたその時々の育ちにあった造形活動との出会いが、子どもたちの素直な感動を生み、生き生きとした学びの原動力となっていきます。

次に示すように、子どもの育ちをとらえた校種別テーマを設定しました。

幼稚園・保育園では 「みてみて！」 感じるままに

小学校では 「やりたい！ やってみたい！」 思いのままに

中学校では 「・・・きめた。」 わたしがわたしをつくるとき

高等学校では 「こうしてみよう！」 つながる学び

このように、子どもがつくりだした喜びを私たちが受け止め、リレーして造形活動を設定していくことは、子どもが自己有用感を高めながら、自らの生き方をつくっていくことにつながるのではないかでしょうか。

■ 会期 平成28年11月17日（木）・18日（金）

■ 会場 全体会場 開内ホール

公開授業・分科会会場 幼稚園 鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園

・小学校 横浜市立西寺尾小学校

・中学校 横浜市立仲尾台中学校

・高等学校 神奈川県立上矢部高等学校

レセプション メルパルク横浜

主 催 ■関東甲信越静地区造形教育連合 ■神奈川造形教育協議会

共 催 ■神奈川県小学校教育研究会図画工作部会 ■神奈川県公立中学校教育研究会美術科部会 ■横浜市教育委員会

後 援 ■文部科学省 ■神奈川県教育委員会 ■川崎市教育委員会 ■相模原市教育委員会

■神奈川県公立小学校長会 ■神奈川県公立中学校長会 ■神奈川県立高等学校長会

■公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会 ■神奈川県造形教育をもりあげる会 ■NPO法人日本造形教育振興協会

■一般財団法人横浜市安全教育振興会 ■公益財団法人日本教育公務員弘済会神奈川支部



「みてみて！」 感じるままに

◆「みてみて！」は子どもがやりたいことを時間を気にせず、存分に遊びこんだ後にわき出る思いの言葉です。幼い子どもは目の前に興味があるものがあると、手でさわって確かめます。この「見ただけでは不確かなものを手で触って確かめる」ということが、造形活動の基盤となります。造形の材料は、働きかけに対して柔軟かつ確実に反応し、目の前の行為を形や色として返してくれるのです。次第に「いいことおもいついた！」「ああしてみよう」「こうしてみたらどうだろう！」と自分の中に芽生えた思いを繰り返し、あれこれ試し始めます。

幼児期の表現は、素朴で原始的な意味をもち、子どもが生きている証として捉える必要があります。子どもの生活から生み出された表現は、自分を確かめる子どもの生活そのものです。したがって、まるごと受け止め、保障することで子どもは安心感を覚えます。子どもが夢中になって造形活動に取り組む行為は、豊かに生きている証であると考えています。



「やりたい！ やってみたい！」 思いのままに

◆「やりたい！ やってみたい！」と、子どもが意欲をもって発想を広げ主体的に取り組む創造的な造形活動が行えるよう、授業づくりを考えていく必要があります。子どもたちは、造形活動の中で、材料・表現方法・場所など、様々な対象と出会います。また、材料の形や色などから楽しい活動を思い付き、体全体を使って思いのままに表したり、自分の表したいことを進んで見付け、表し方をいろいろ試しながら絵や立体に表したりしていきます。一人ひとりが思いをもって試行錯誤を続け、自分らしい表現を求めていくところに価値があります。その過程で、子どもはかけがえのない自分を見付け、自分の表現や存在を肯定的に受け止められるようになります。そして、思いを表現できたときの達成感や満足感が、次の活動への意欲へつながっていくのです。

このように、関心・意欲の高まりに支えられ、子どもが自分の表したいことを進んで見付け、いろいろ試しながら思いのままに表し、自分らしい感じ方や見方をもつようになっていきます。その一つひとつの積み重ねが、その子らしい生き方をつくっていくととらえ、小学生の「今」をみつめた造形教育のあり方について考えていきます。



「・・・きめた。」 わたしがわたしをつくるとき

◆中学生は、自分という存在に対して疑問や不安を感じ、心身が大きく変化していく時期です。他者と自分を比較しながら、模索と葛藤を繰り返し自立に向かって成長します。この時期に、素材や題材との出会いをきっかけに自分と向き合い、ふと思い浮かんだ感覚を基に、普遍的な美しさも感じ取りながら形にしていく活動を通し、「・・・きめた。」という小さな自己決定を行いながら、心のあり方を少しずつ確かなものにさせ、自立のきっかけをつかませていくことが、造形教育の役割ではないでしょうか。

子どもたちが造形活動により魅力を感じ、感性が發揮されていく場を設けること。一人ひとりの心の動きを見取りながら助言し、自分のよさに気づくことができるよう促していくこと。学び合いの中で互いに視野を広げ、地域や社会との関わりを理解し、「価値観」が築かれ「世界観」を広げさせること。これらの経験を通して、将来の方向性を見いだしていく子どもたち一人ひとりの自立に立ち会うことが、私たちの使命であり、やりがいではないでしょうか。

生涯学習における、様々な表現活動への橋渡し役として、造形教育のあり方について研究を深めたいと考えています。



「こうしてみよう！」 つながる学び

◆「こうしてみよう！」と思えることはすばらしいと思います。勇気と創造性が言わせる言葉だからです。生徒が「こうしてみよう！」と思えるようになる背景には、造形活動や美術工芸への興味関心と、それまでの成功や失敗の経験があります。中学校までに積み重ねてきた様々な造形活動の経験が実を結んだものだと思います。

小学校、中学校での造形活動を通じて「感じる・つくる」を繰り返し経験してきた高校生は、人の気持ちを「感じ」たり、人間関係を「つくる」場面に直面したりします。さらに行動範囲や交友関係が広まり、創造（想像）力を使う必要性が増していきます。

社会に踏み出す一步前にいる高校生のために美術工芸教育ができるることを、中学校までの造形教育を意識しながら考えていきます。

□ 神奈川大会の日程（予定）

期日	校種等	9 30	10 30	11 30	12 30	13 30	14 30	15 30	16 30	17 30	18
11/17 (木)	都県 代表者 会議 ・ 全体会	受 付	都 県 代表者 会 議	昼 食	開会式 ・ 全体会 ・ 基調提案	14:10～ 講 演 会		移 動		レセプション メルパルク横浜 (横浜市中区)	
11/18 (金)	幼稚園 小学校 中学校 高等 学校	受 付	公開授業 協 議	昼食	ワークショップ 昼 食 昼 食	分 科 会 研究発表	閉 会 式	テーマ別分科会			

□ 公開授業内容（予定）

校園種	会 場	内容とキーワード	学年・担当地区
幼稚園	鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園	あそび	年少・年中・年長
小学校	横浜市立西寺尾小学校	A表現（1）造形遊び 思いつく A表現（2）絵や立体、工作に表す みつける B鑑賞（1） みる 特別支援学級 のびる	全クラス公開 (14クラス)
中学校	横浜市立仲尾台中学校	A表現（1）(3) 思う A表現（2）(3) 動きかける B鑑賞（1） ひらく・つながる	厚木 横浜 川崎 茅ヶ崎 横浜 横浜国大附属鎌倉 年
高等学校	神奈川県立上矢部高等学校	中高美術工芸の今・・・	授業実践提案

□ 校種別分科会

大会 テーマ	校種別 テーマ	校種	内容とキーワード	提案・助言・司会担当（地区）	分科会
感じる つくる 生きる ～今をみつめ 明日を育む造形活動～	「みて 感じ るま まに みて み て！」	保育園 幼稚園	あそび	神奈川県（横浜）	1
	「やりたい！ やつてみたい！」 思いのままに	小学校	A表現（1）造形遊び おもいつく	神奈川県（横・西寺尾） 神奈川県（川崎） 神奈川県（相模原）	長野県 東京都 茨城県
			A表現（2） 絵や立体、工作に表す みつける	神奈川県（横・西寺尾） 神奈川県（川崎） 神奈川県（横浜） 神奈川県（川東） 神奈川県（川西）	栃木県 千葉県 埼玉県 山梨県 新潟県
				神奈川県（横浜） 神奈川県（横須賀）	静岡県 群馬県
				神奈川県（横・西寺尾）	神奈川県（川崎）
			B鑑賞（1） みる	神奈川県（鎌倉） 神奈川県（横浜国大附属横浜）	茨城県 埼玉県
				神奈川県（川崎） 神奈川県（横須賀）	長野県 千葉県
				神奈川県（相模原） 神奈川県（横浜）	東京都 新潟県
		中学校	A表現（1）（3） 思う	神奈川県（横浜）	12
				神奈川県（鎌倉） 神奈川県（横浜国大附属横浜）	13 14
			A表現（2）（3） 働きかける	神奈川県（川崎） 神奈川県（横須賀）	15 16
				神奈川県（相模原） 神奈川県（横浜）	東京都 新潟県
			B鑑賞（1） ひらく・つながる	神奈川県（横浜）	17 18
				神奈川県	
				神奈川県	19
	「つくるとき わたしが わたり を ・ きめた。 」		中高美術工芸の今…		
	「つながる学 び ～ つながる学 び ～ みよう！」	高等学校			

□ 全体会 指導講評・講演

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 岡田京子氏、東良雅人氏

演題 「明日を育む造形活動」

～ 子どもの育ちに応じた 図工、美術教育 ～

□ 神奈川大会事務局

横浜市立上の宮中学校 中澤 務

〒230-0075 横浜市鶴見区上の宮一丁目26番地33号

TEL 045-582-8801 FAX 045-585-9914

<http://www.kanagawa-zokei.com/>